



日本共産党 品川区議会議員 区政報告
としふみ
のだて 稔史 ニュース

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

リニアと同じ工法の東京外かく環状道路

陥没事故の現場を視察



昨年10月、調布市で外環道トンネル工事による陥没事故が起きてから1年が経ちました。同じ大深度地下でのシールドマシン工法でリニア新幹線の工事が行われる品川でも同様の事故が起こりえます。区民の方と調布市の陥没事故・空洞が発生した現場を「外環道被害者住民連絡会」の菊池共同代表に案内して頂きました。

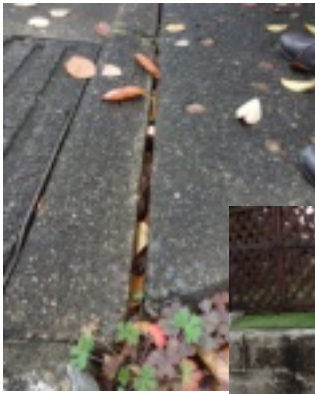


上) 事故発生直後の現場
下) 現在の事故現場

住宅街のと真ん中で陥没
現場は京王線つつじが丘駅から徒歩10分もかからない閑静な住宅街。陥没事故（5メートル×3メートル、深さ5メートル）が起きたのは、ごく普通の民家の目の前です（左写真）。
その後のボーリング調査等で3か所の巨大な空洞（4メートル×30メートル、深さ3メートルなど）も見つかりました。
裏に続く

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、36歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。



◀敷地と道路側溝との隙間が広がっている
▼ブロック塀にひびが入り、上段は撤去は新設されている



事故前、7月下旬から振動が始まり壁や塀の亀裂（左写真）などの異変が起こり、多くの人が一日中続く揺れに体調不良となり、頭痛や吐き気、不眠などに悩まされたとのこと。その都度、事業者の（株）ネクスコに訴えてきましたが、工事は進められませんでした。

住民の訴えに共産党・山添拓参院議員らが現地調査し、住民とともに工事中断を国交省に求めた11日後に陥没事故が起きました。

地域の被害は広範囲に及び、シー

ルドマシンが止まっている今も、壁や塀の亀裂が広がっているとのことでした。

（株）ネクスコは、トンネル真上の220m範囲に限り、30世帯をいったん立ち退かせ、更地にして地盤改良を行う方針ですが、時期や工法も未定のまま。すでに引越した家もありました。

地上に影響はないと説明し続け、事故を起こしても住民に真摯に向き合わない（株）ネクスコと国交省。地盤を緩め、住民に恐怖を与え続け、集団交渉にも応じないなどひどいやり方です。

地域では裁判も含めた大きな運動になっています。

品川でも同様の事故が…

品川区を通るリニア新幹線でも同様で、大深度地下工事は住宅街の真下を通るため、基準に沿ったボーリング調査ができません。

外環道有識者委員会の小泉委員

リニア新幹線学習会

12月26日（日）

午後6時30分～

きゅりあん7階イベントホール

講師：山添拓参院議員

リニア新幹線は品川から始まり、来年度は本格的なトンネル工事が予定されています。ぜひご参加ください。
主催：日本共産党品川区議団



長は「地中の1ヶ先がどうなっているか、本当にわからない」と発言。つまり、手探りで掘り進めることになってしまいます。

こうした工事を住民の同意なく、用地買収もない、補償もゼロで、時間と手間を省き可能としたのが大深度地下法です。

外環道の陥没事故から教訓を学び、「リニア新幹線は中止の決断を」の声を一緒に広げましょう。

無料
法律相談

1月18日（火）午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒にお話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674

日本共産党